

東京作家大学WEB講座利用規約

東京作家大学（以下、当校といいます）が提供する東京作家大学WEB講座（以下、当システムといいます）を利用するには、以下の利用規約の定めに基づくため、あらかじめ内容をよくお読みになり、ご理解いただいたうえで、利用いただきますようお願いいたします。

第1条（目的）

東京作家大学WEB講座利用規約（以下、当規約といいます）は、当校が有する講義情報等の電子的データを、第2条に定める会員が所有または貸与されるデジタル機器を通じて利用に供されることにあたり、その利用条件等を定めることを目的とします。

第2条（会員）

当規約の対象となる会員とは、当校と東京作家大学WEB講座に所定の方法で受講申し込みを行い、所定の受講料を支払った者をいいます。

第3条（サービスの内容）

当システムにおいて当校が会員に提供するサービス（以下、当サービスといいます）は、下記に定めるものとします。なお、受講講座によって該当するサービスが異なる場合があります。

- (1) 受講講座の動画または音声視聴
- (2) 受講講座に付随するデジタル教材の閲覧
- (3) 受講講座に付随する講義録等の資料の閲覧またはダウンロード
- (4) 受講講座の課題に対する講評・添削

第4条（会員の利用停止、取消）

当校は、会員が下記に定める事項に該当した場合、何らの通知催告することなしに直ちに会員登録の利用停止または取り消すことができるものとします。

- (1) IDもしくはパスワードを不正に使用した、または使用させた場合
- (2) 当システムの利用にあたり、当校運営を妨害した場合
- (3) 当システムの利用にあたり、提供される情報を改ざんした場合
- (4) その他当規約に違反した場合
- (5) その他会員として不適切と当校が判断した場合

第5条（IDまたはパスワードの取扱い）

会員は、IDまたはパスワードが第三者に使用されることのないよう適切に管理するものとします。なお、会員はIDまたはパスワードの詐取、第三者の不正利用を認知または予見した場合には、直ちに当校に知らせるものとし、当校の指示がある場合には当該指示に従わなければならないものとします。

第6条（禁止事項）

1. 会員は、当システムの利用にあたって以下の行為を行ってはならないものとします。
 - （1）当校または第三者の著作権、商標権、特許権、意匠権等（以下、総じて知的財産権といいます）を侵害する行為、または侵害するおそれのある行為
 - （2）当校または第三者の財産、プライバシーを侵害する行為、または侵害するおそれのある行為
 - （3）他の会員または第三者を誹謗中傷する行為、またはこれに類する行為
 - （4）当システムを通じた営利を目的とした行為、またはその準備を目的とした行為
 - （5）取得したIDまたはパスワードを故意に第三者へ漏洩または譲渡する行為
 - （6）当システムの複製、改変、解析、改ざん、送信もしくは頒布を目的とした行為
 - （7）当システムのアプリケーションを改ざんする行為
 - （8）マルチウェアを用いた悪意のある行為やこれに類する行為等をはじめとする当システム運営に影響を及ぼす行為
 - （9）その他当校が不適切と判断する行為
2. 当校が当システムの運営上不相当と判断した情報が当システムに書き込まれ、または当システムからのリンク先に書き込まれた場合には、当社は会員及び情報の書き込みを行った者の承諾なしに、当システムに掲載された当該情報を削除し、または当システムに貼られたリンクを切断することができるものとします。

第7条（設備等の準備）

1. 会員は、当システムを利用するために必要となる下記に例示する環境の整備及び維持管理を自己の責任と費用負担において行うものとします。
 - （1）通信機器、コンピュータ、ソフトウェアその他当システムを利用するために必要となるすべての機器の準備及び設置
 - （2）通信回線利用契約の締結、インターネットサービスへの加入ならびに通信費その他当システム利用に要する費用の支払
2. 当校は、会員が当システムを利用するために使用するすべての機器やソフトウェア、通信環境等に対する当システムの互換性を確保するために、当システムの内容や提供方法を変更する義務を負わないものとします。

第8条（知的財産権等）

1. 当システムを通じて提供される当社の著作物またはデータの集合体に関する知的財産権は、当校または権利者に帰属しており、会員自身が学習する目的以外に使用及び複製することはできないものとします。
2. 当システムを通じて提出した会員の作品に関する知的財産権は、当校に帰属する。

第9条（当システムの中止、中断）

1. 当校は、当システムの設備の保守作業、天災等の不可抗力、その他の理由により当システムの運用を中止または中断することができるものとします。
2. 当校は、前項の定めにより、当システムの運用を中止または中断する場合は、当校が適当と判断する方法で事前に会員に対してその旨を通知します。ただし、緊急の場合はこの限りではありません。

第10条（損害賠償）

1. 当規約に別段の定めがある場合を除き、当システムに関連して会員に発生した損害について、当校は原因の如何を問わず、現実かつ直接の通常損害に限り、かつ当該会員が当システムを利用した料金の総額の範囲内においてのみ、損害を賠償する責任を負うものとします。
2. 会員は、当システムの利用に関して、当規約及びその他規約を遵守し、当校に対して損害を与えないことを保証するものとします。
3. 会員は、他の会員または第三者との間で紛争が発生した場合、自らの責任及び負担において解決するものとし、当校に対して損害を与えないことを保証するものとします。
4. 当校が会員の故意または過失のある行為に基づき損害を受け、または当校が前項に規定する会員間または会員と第三者の間の紛争に対応した場合において、当校がその対応に負担した一切の費用（弁護士費用等を含む）については、会員は当校の請求に応じて、その損害を賠償するものとします。

第11条（免責）

1. 当校は、次に掲げる事項について、一切の責任を負わないものとします。
 - （1）通信回線やコンピュータ等の障害によるシステムの中断、遅滞、中止、データの消失、データへの不正アクセスにより生じた損害
 - （2）当校のウェブページ、サーバ、ドメイン等から送られるメールまたはコンテンツに第三者により仕組まれたコンピュータウイルス等の有害なものが含まれていたことによる損害
 - （3）会員が利用する稼働環境がデジタル機器のソフトウェア等のバージョン変更や他のソフトウェアとの兼ね合い等により変更され、当社が明示する当システムの動作環境に合致しない状況により生じた損害
 - （4）当システムの提供、遅滞、変更、中断、中止、停止もしくは廃止、当システムを通じて登録、投稿、提供される情報等の流出もしくは消失等、またはその他当システムに関連して発生した損害
 - （5）当校が指定する宅配業者または郵便事業者（以下、運送業者等といいます）が教材の運送を行う際に当社の責めに帰することができない事由によって生じた損害
 - （6）会員が当規約等に違反したことによって生じた損害
 - （7）その他当校の責めに帰さない事由により生じた損害
2. 当校は、当システム及び当サービスに起因するトラブルに関し、当校サービス以外のサポートの義務を負わないものとします。
3. 当校は、当システムの内容及び会員が当システムを通じて得る情報等について、その完全性、正確性、確実性、有用性等の如何なる保証も行わないものとします。

第12条（準拠法及び合意管轄）

1. 当規約に関する準拠法は、すべて日本国の法令が適用されるものとします。
2. 会員と当校の間における一切の訴訟については、東京地方裁判所をもって第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

第13条（規約の変更）

1. 当規約の変更が生じた場合には、当校ホームページ（<https://www.tokyo-writer.jp/>）にて告知いたします。
2. 強行法規の改正等により、当規約の一部が同法規に抵触する場合には、当該部分を同法規の定めに従い変更したものとします。

第14条（施行日）

2020年9月16日

東京作家大学